

夏休み歴史教室

# 外国人が見た大井川

実施日：令和6年8月1日(水)

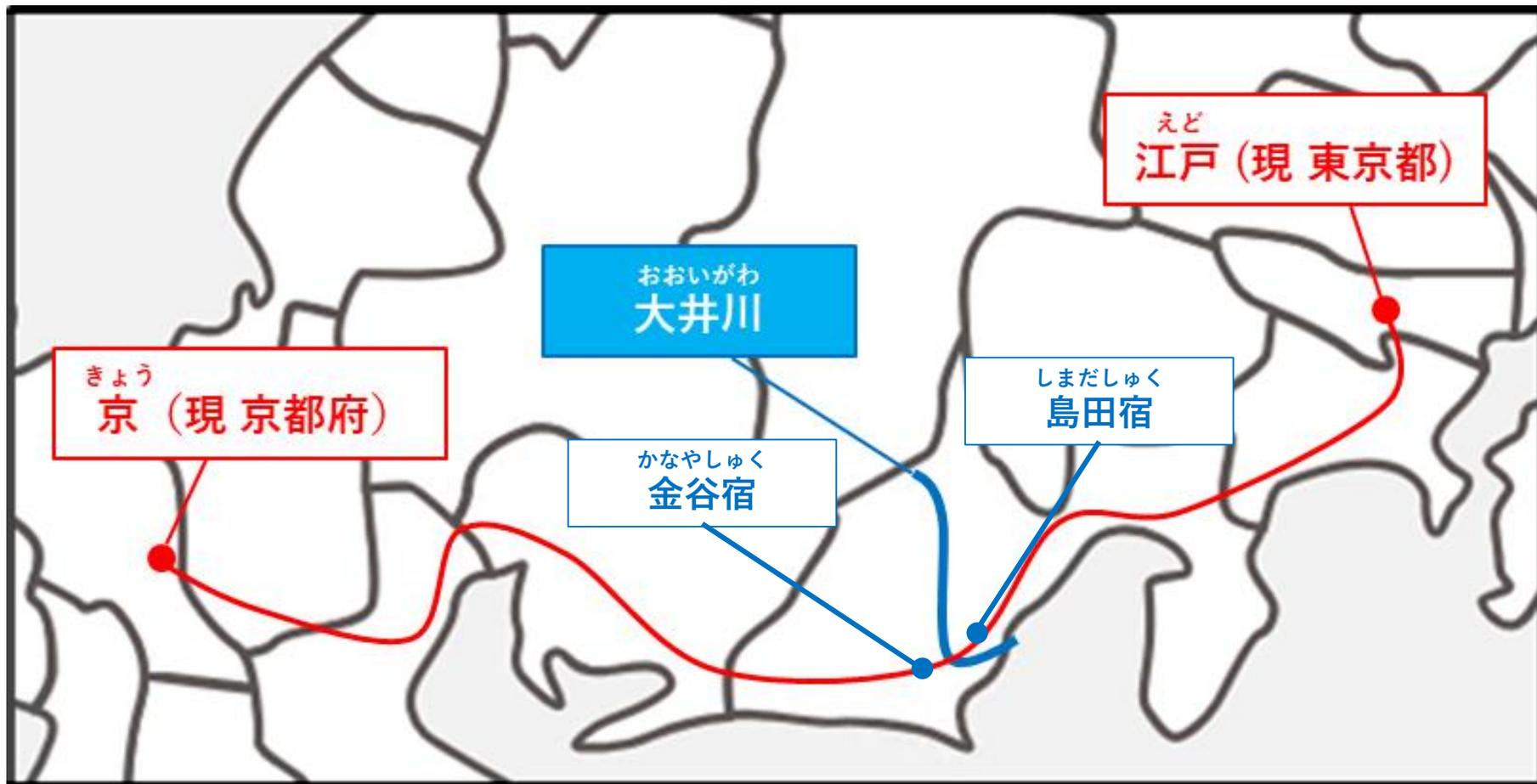


とくがわ いえやす  
**徳川 家康**



# **五街道**の整備

東海道、中山道、日光街道  
甲州道中、奥州道中



えど  
江戸 (現 東京都)

おおいがわ  
大井川

きょう  
京 (現 京都府)

しまだしゆく  
島田宿

かなやしゆく  
金谷宿

とうかいどう  
— : 東海道 (江戸から京を海沿いのルートで結んだ道)

かわご  
「川越し」を伝える遺  
いせき  
跡は日本でここだけ！

おおいがわかわごしいせき  
大井川川越遺跡

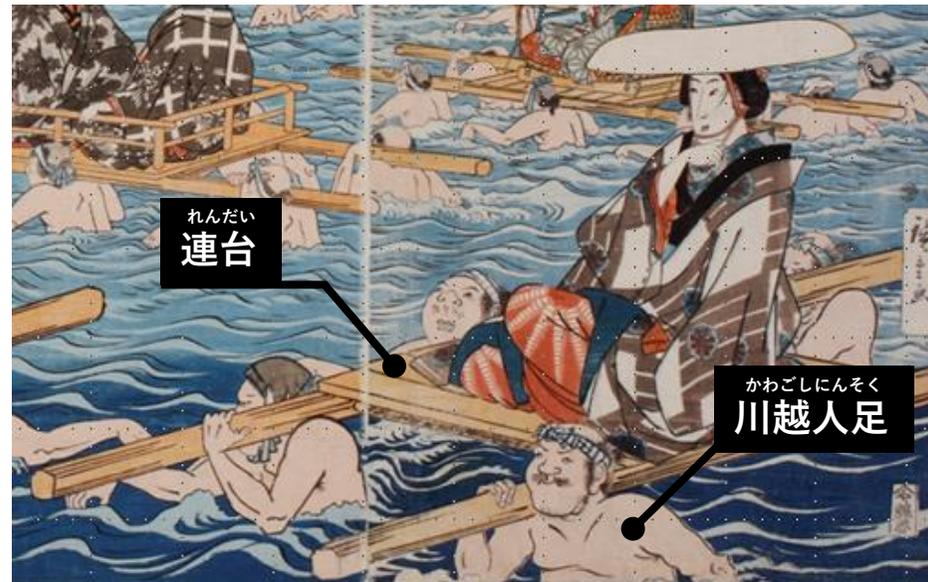


1696(元禄9)～1870(明治3)年

かわごしせいど

# 川越制度

大井川は橋を架けちゃダメ、船で渡ってもダメ、  
さらに歩いて渡ってもダメ。  
かわごしにんそく  
必ず川越人足を雇って渡りなさい。



## 川越しの方法

川越制度においては、  
大きく分けて**2つの渡り方**が決められていました。

かたくまご

### 肩車越し

- ◆庶民が利用。
- ◆最も安い。
- ◆安全性△



川越人足の肩車で渡る。

れんだいご

### 連台越し

- ◆上流の庶民や大名が利用。
- ◆連台の代金も支払う。
- ◆安全性○
- ◆大名・将軍にとっては、非常に大きな経済的負担。



れんだい

専用の乗物「連台」で渡る。

## 川越しの方法

かわふだ      だいふだ  
川札 / 台札

### 大井川を越えるためのチケット

川札



川越人足を雇う

台札



連台を借りる

川札1枚のねだん = 大井川の深さで変わる



この川越し、いくらかかった？



# この川越し、いくらかかった？

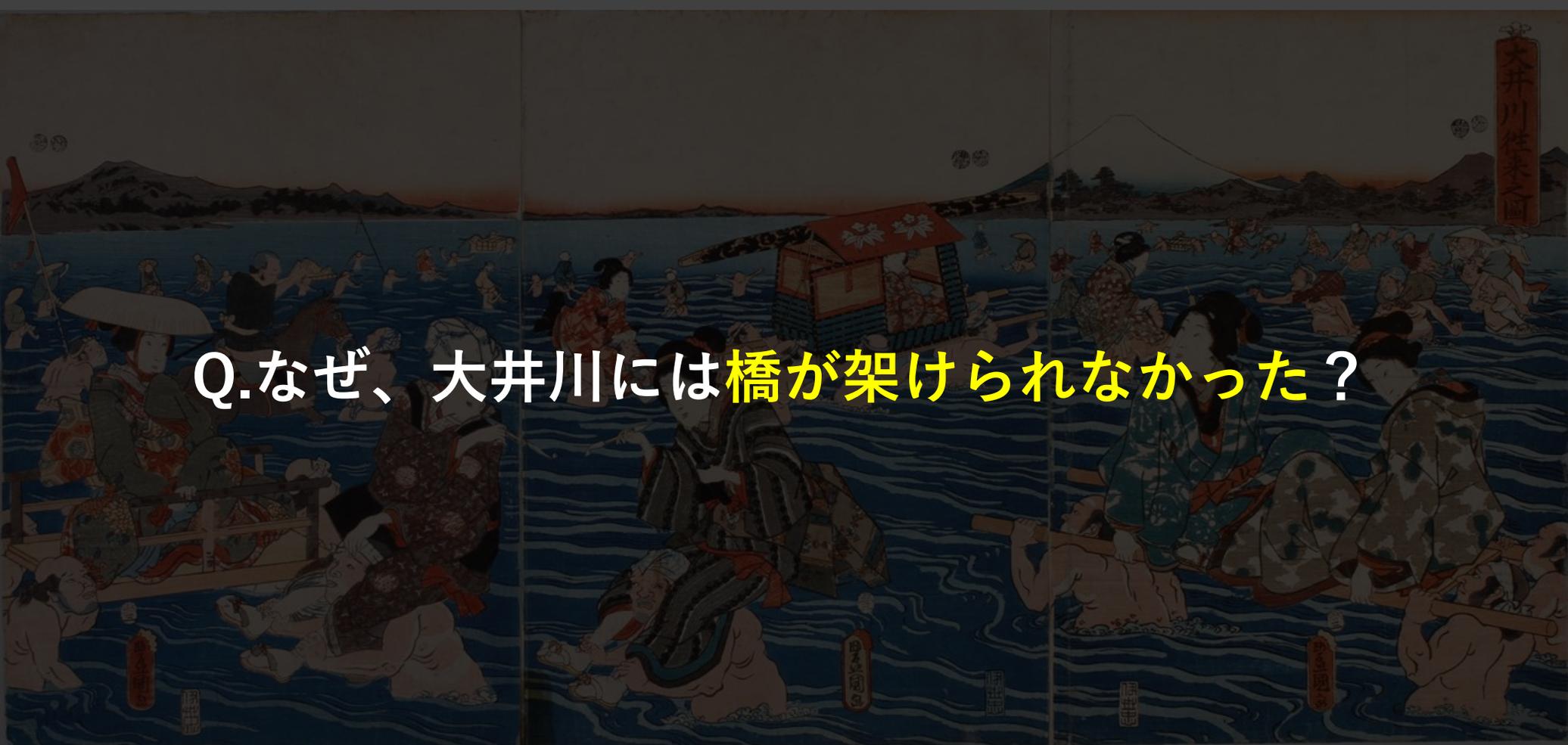
計約 **14,040** 円

川越人足 :  $78\text{文}/\text{人} \times 4\text{人} = 312\text{文} \doteq 9,360\text{円}$

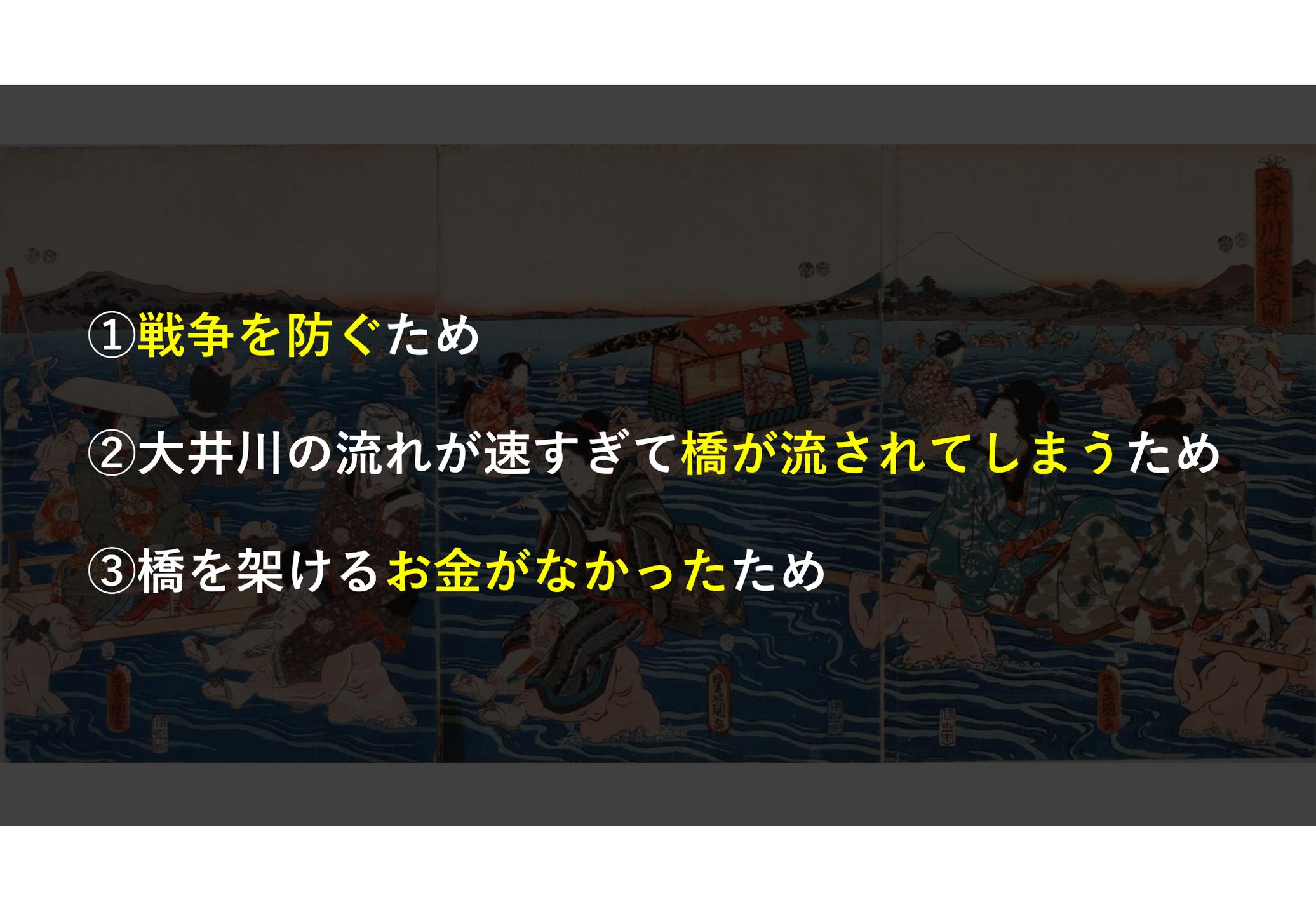
連台 :  $78\text{文} \times 2 = 156\text{文} \doteq 4,680\text{円}$

※想定：川越賃銭 78文/人（乳通し）、1文=30円





Q.なぜ、大井川には橋が架けられなかった？



①戦争を防ぐため

②大井川の流が速すぎて橋が流されてしまうため

③橋を架けるお金がなかったため

① 橋を架けるお金がなかったため

② 大井川の流**全**れが**正**速すぎて橋が**解**れてしまうため

③ 戦争を防ぐため

1870(明治3)年

# 川越制度の廃止

船でわたるか、橋をかけるか便利な方にしなさい。  
徒歩で渡るのは廃止。



川越人足のその後

## 川越人足はお茶農家へ

仕事を失った川越人足の一部は、  
まきのはらだいち かいこん  
牧之原台地の茶畑を開墾しました。



のうぎょういちずのはし ほうらいばし  
農業一途之橋（現 蓬萊橋）



3

大井川を渡ったドイツ人



ちょんまげ

侍

Q. 「江戸時代」ってどんなイメージがありますか？

お殿様

将軍





出島のオランダ商館  
で貿易

オランダ

清

ながさき  
長崎

李氏朝鮮

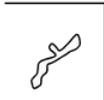
つしまはん  
対馬藩

まつまえはん  
松前藩

アイヌ

さつまはん  
薩摩藩

琉球国





# シーボルト

(1796~1866)

1823(文政6)年に長崎に来日したドイツ人医師、植物学者。200年前の日本の記録を多く残した。

1832(天保3)年、日本研究の集大成『NIPPON』を刊行。

# 1826(文政9)年 オランダ商館長の江戸参府

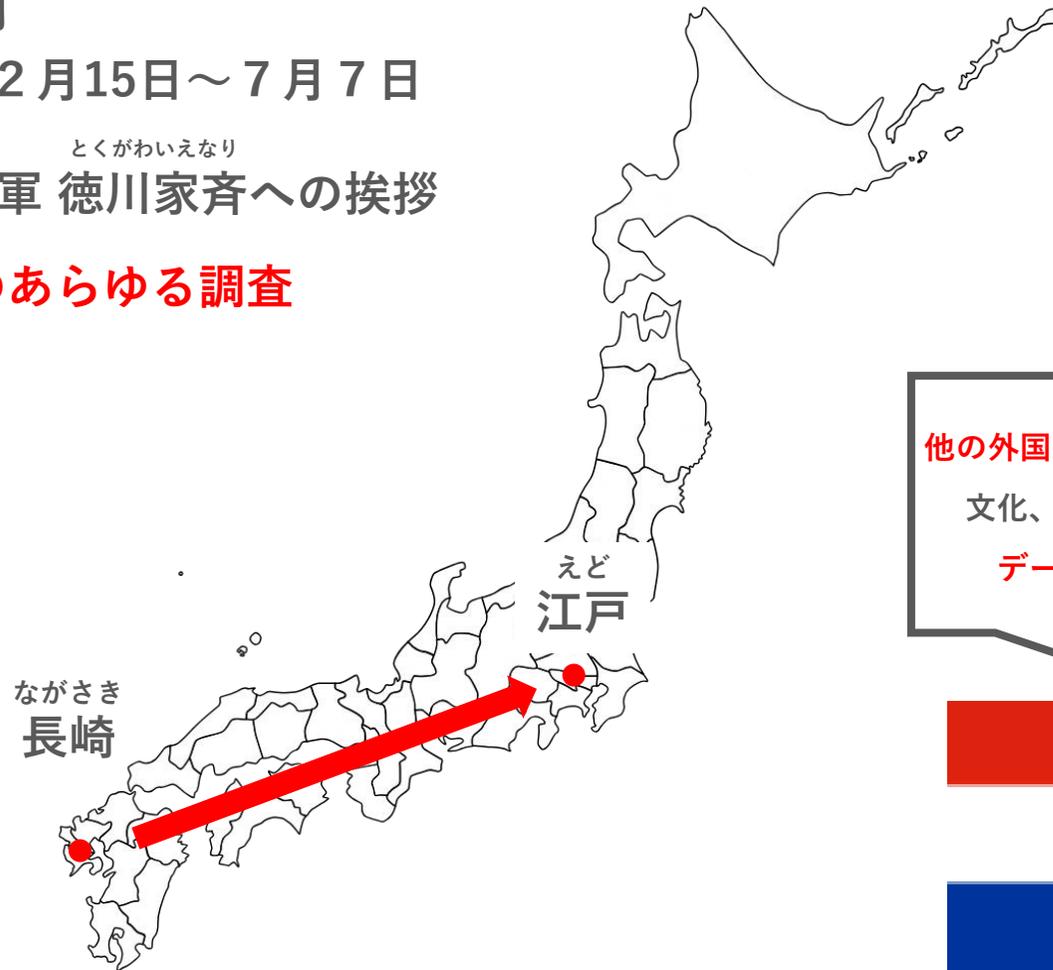
日数：約**140**日間

1826(文政9)年 2月15日～7月7日

とくがわいえなり

目的：江戸幕府11代将軍 徳川家齊への挨拶

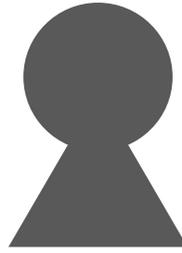
**未知の国 日本のあらゆる調査**



他の外国よりも先に日本の地理、  
文化、動植物などの**詳細な**  
データを手に入れる！



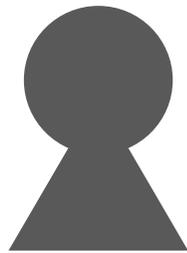
# 1826(文政9)年 オランダ商館長の江戸参府



オランダ商館長  
スチュルレル



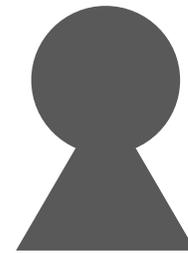
随員 57名



書記 ビュルガー



医師 シーボルト



かわはらけいが  
絵師 **川原慶賀**

など

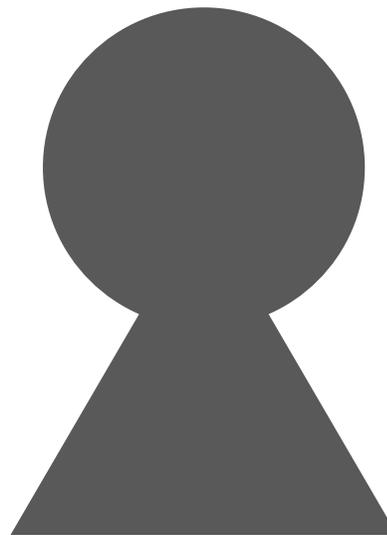
## - 長崎 出島 -

誇張をするのではなく、  
見たままの日本を  
描いてほしい。



シーボルト

分かりました！  
浮世絵と西洋絵画の技法を  
合わせた精密な絵を描きます。



かわはらけいが  
川原慶賀

# 1826(文政9)年 4月2日 シーボルトの大井川越し



「(前略)動かぬようしっかりと連台にくくりつけておいた駕籠に乗りこみ、大声を出している半人半魚の男たちにわが身を委せた。

この熟練した川越人足はたいへん楽々この急流を渡ってわれわれを運んでくれた。

ひとりの人は普通川越人足の肩に乗り、第二・第三の人足がこれを支えて渡り、身分の高い人は大小の連台で向う岸へ運ばれる。人足自身は特に鍛錬されていなければだめで、彼らはどんな季節でも真っ裸で、ただ陰部をちょっとおおうだけで、一日中この危険な仕事をしなければならないのである。

私が聞いたところでは、彼らは水嵩に応じて80～96銭を受け取る。もし誰かが人足の過失で流れに呑まれたら、人足は死罪になる、とはっきり言った人があるので、私はこの職業を危険きわまりないというのである。(後略)」

# 1826(文政9)年 4月2日 シーボルトの大井川越し



川原慶賀「OIGAWA」(九州大学附属図書館蔵)

1826(文政9)年 4月2日 シーボルトの大井川越し



川原慶賀「川越人足 幽霊と卒塔婆の刺青」  
(ミュンヘン五大陸博物館蔵)



川原慶賀「川越人足 雲龍の刺青」  
(ミュンヘン五大陸博物館蔵)

シーボルトの残した絵の資料的価値

大井川の川越人足の  
写真は1枚も残っていない



大井川の川越人足の  
実像を記録した貴重な資料

- 本日のまとめ -

1

東海道を作ったのは  
**徳川家康**

3

川越制度を支えたのは  
かわごしにんそく  
**川越人足**

2

大井川の川越制度は  
約**180**年間行われた

4

**シーボルト**は  
リアルな川越人足を描かせた

